

殺人か？

医療か？



「Shall we ダンス?」「それでもボクはやってない」

周防正行監督作品

終しんの信託たく

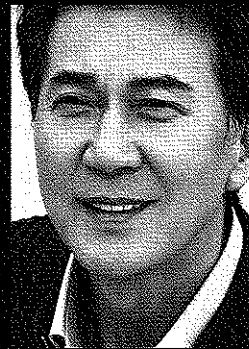
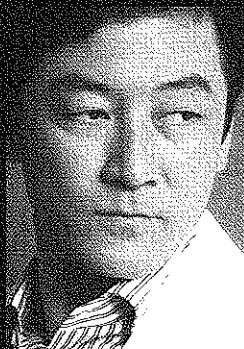
草刈民代 役所広司 浅野忠信 大沢たかお

原作：朔立木 (光文社文庫) 監督・脚本：周防正行

製作：亀山千広 エグゼクティブプロデューサー：梶井晋志 企画：小川泰 市川南 小形規二 プロデューサー：土屋健 稲巻直人 日本晋生 梶田植太郎
撮影：寺田隼郎 照明：長田建也 美術：磯田典宏 録音：藤 弘道 編集：菊池純一 キャスティング：吉川成史 南谷 夢 助監督：片岡章三 製作担当：島根 淳 プロダクションマネージャー：横村裕子
音楽：周防正行 エンディング曲「遠く、そして近く」歌：種ともこ(サントラ：ウルトラ・ヴァイヴ) 挿入曲「私のお父さん」歌：キリ・テ・カナヲ
製作：フジテレビジョン 東宝 アルタミラビクチャーズ 製作プロダクション：アルタミラビクチャーズ 配給：東宝 ©2012フジテレビジョン 東宝 アルタミラビクチャーズ

www.tsuino-shintaku.jp

10月27日(土) 東宝系ロードショー



周防正行がたどり着いたのは、愛と死を超える魂の慟哭。どう かく

周防正行監督最新作

終ついの信託しんたく

『Shall we ダンス?』から16年、草刈民代×役所広司の名演が再びよみがえる。
「人の死」と「人の愛」のあり方とは。周防正行が描くラブストーリー。

10月27日(土)全国東宝系ロードショー

INTRODUCTION

『シコふんじゃった。』(1992年)で日本アカデミー賞最優秀作品賞を、『Shall we ダンス?』(1996年)では日本アカデミー賞全部門を制覇。そして、『それでもボクはやってない』(2007年)で主要映画賞30冠を達成。コメディから社会派作品まで、常に世間を驚かし続ける名匠、周防正行が新たに送り出す衝撃作。今作は現役弁護士・朔立木の同名小説の原作を周防監督が大胆に脚本化したもので、終末医療の現場で起こる生死をめぐる問題にメスを入れたもの。“愛”と“死”に直面した人間を冷静な視点で描きながら「終の信託」—命の終わりを信ずるものに託すこと—とは何かを観る者に問いかける。その中に周防流ラブストーリーとも言うべき物語が綴られている。出演は『Shall We ダンス?』以来16年ぶりのコンビとなる草刈民代と役所広司。さらに浅野忠信、大沢たかおと日本映画界最高の豪華俳優陣が周防組に集結した。愛とは何か?命の重さとは?そんな問いさえもはるかに超える息詰まる展開と衝撃の結末が待っている。

STAFF/CAST

監督・脚本：周防正行

出演：草刈民代 役所広司 浅野忠信 大沢たかお

原作：朔立木(さく たつき)「命の終わりを決めるとき」

コぶんじゃった」(東宝)の二作品で高い評価を得る。そして、1996年の「Shall we ダンス？」(東宝)では日本アカデミー賞全部門を制覇し、ハリウッドでもリチャード・ギアを主演に迎えリメイクされた。さらに、2007年には痴漢冤罪を通じて日本の司法制度にメスを入れた「それでもボクはやってない」(東宝)が公開され、主要映画賞30冠達成の偉業を成し遂げた。常に社会に対し疑問を持ち、そこに周防流のメスを入れ、コメディィーから社会派まで幅広いエンターテイメント作品に落とし込む。

●その他

- ◆製作：(C) フジテレビジョン 東宝 アルタミラピクチャーズ
- ◆制作プロダクション：アルタミラピクチャーズ
- ◆配給：東宝
- ◆撮影：2011年10月21日～12月21日
- ◆公開：2012年10月27日(土) 全国公開予定

●パブリシティ原稿

「それでもボクはやってない」から5年、周防正行監督の最新作が完成！『Shall We ダンス？』以来16年ぶりのコンビとなる草刈民代と役所広司。さらに浅野忠信、大沢たかおと日本映画界最高の豪華俳優陣が周防組に集結しました。この最高の布陣で今回周防監督が切り込むのは終末医療問題。「人の死」と「人の愛」のあり方とは何か、その中で描かれる周防正行流の衝撃のラブストーリーを目の当たりにすることになるでしょう。映画「終の信託」は10月27日(土)より全国東宝系の映画館にて公開となります。

【お問い合わせ】東宝(株)関西支社宣伝部 森田/島野
TEL06-6361-0254 FAX06-6361-5224